医療法人せいざん　青山病院　　令和2年６月号

広報 あおやま

新しい職員のご紹介

4月から青山病院に入職しました高原由佳子です。
以前は琵琶湖が一望できるリハビリテーション専門の病院に勤務していましたが結婚を機に滋賀県から広島県へ移住しました。。
以前の病院では退院後、在宅や元の施設へ帰られる患者様が多く、疾患によるハンディキャップを背負いながら日常生活を送って行かれる方、社会復帰を目指す方と看護やリハビリを通して関わらせていただいていました。
青山病院では一人一人の患者様と時間をかけて関わることができとてもやりがいを感じています。
職場の雰囲気は明るくスタッフ全員で協力し合って仕事に取り組んでいるところがとても魅力的に感じています。
私は青山病院に勤めたばかりなのでまだ慣れないことも多く、先輩方や他職種のスタッフの皆さんに指導していただき、早く仕事を覚えて慣れていけるよう努力していきたいと思います。
そして学びを少しでも患者様、ご家族様へ返していけるよう一人一人の立場に立って心温かい看護を提供していけるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

面会制限を一部解除します

６月１日より県内在住のご家族様2名までは下記の通り面会して頂ける事となりました。

大変申し訳ございませんが、県外のご家族様につきましては引き続き面会禁止とさせていただきます。
ただし、症状が重篤な患者様の面会は県外のご家族様も事前連絡で可能といたします。

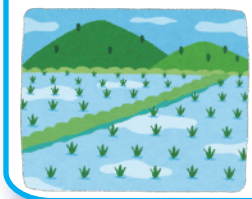
面会時間
平日：14:00～17:00（時間制限30分）
面会時はマスク着用にて、面会前に検温・症状の有無を外来受付にて確認させていただきます。

土・日祝：14:00～17:00（時間制限30分）
当面予約制といたします。
事前予約したうえで病院到着時にインターホン・電話で詰所にご連絡ください。
面会前に1階ロビーにて検温・症状の確認をさせて頂きます。

なお、呉市及び周辺地域でコロナ患者発生の場合はその都度制限を検討させていただきます。

水無月

六月と聞いてまず思い浮かべるのは「雨」「梅雨」ではないでしょうか。例年6月11日頃が暦では入梅（にゅうばい）という雑節となります。一説には湿度が高くなるこの時期は「黴（カビ）」が生えやすく「黴雨（ばいう）」が転じて「梅雨」になったと言われています。
雨の多い月なのに何故「水無月＝水が無い月」なのかと疑問に思われた方も多いと思います。
ほかの和月名同様、語源は諸説あるのですが、６月はほかの月と違って逆の解釈が混在している月でもあります。
ひとつは、水無月の「無（な）」が連体助詞で「～の」という意味を持ち水無月は「水の月」という説です。ここでいう水は雨のことではなく、田植が終わった田に張られる水のことを示します。
これに対して、水が無いから「水無月」だとする説もあり、これは田に水を引くため、それ以外の所に配る水が無いという意味です。
いずれにしても、農耕民族特有の農業に関する説が多いようです。
ところで　白い「ういろう」の上面に甘く煮た小豆をのせ、三角形に切り分けた水無月という和菓子があり、京都では夏越の祓が行われる6月30日に、一年の残り半分の無病息災を祈念してこれを食べるそうです。
平安時代「氷室の節句」の日に、氷室から氷を切り出して食し暑気払いをする宮中の風習があり、白いういろうは氷をかたどったもの、四角を半分にするのは一年の半分を示している言われており、小豆の赤い色も厄除けの意味があるとされています。
皆様も残り半年の健康を願って一度食してみては如何でしょうか。



診療案内

月曜日～金曜日　午前：９時～１２時　午後：４時～６時
土曜日　午前：９時～１２時　午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医（※今月から一部変更となります：青字部分）

月曜日	午前：青山	午後：内科（交代制）	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：卜部・森本（腎臓内科）		午後：井料(脳神経内科)	
			土曜日	午前：内科(交代制)	

季節の風景

咲き始めました